

修了評価の方法

評価基準作成者： 上田 拓

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 五肢選択形式及び記述問題とする。</p> <p>3 出題数 択一問題 20 問 (配点各 3 点)、記述式問題 5 問 (配点各 8 点) 全問正解：100 点満点</p> <p>4 合否判定基準 60 点以上とする</p> <p>5 不合格になったときの取扱い ※結果発表後、60分の補習のうえ再試験を行う。 なお、再評価に係る合格基準も60点以上とする。 補習料・再評価料：無料</p> <p>※再試験を最大3回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には個別指導を行い、テストを実施する。 3回とも不合格の場合は、次回開講分を受講してもらう。</p>
------------	---